

■米国：2019年に停止した石炭火力は1,500万kW超

エネルギー情報サイトは2020年1月13日、2019年に停止あるいは燃料転換した石炭火力の設備量が1,510万kWとなり、過去2番目の規模になったと報じた。エネルギー情報局などのデータを基に報じたもので、これまでの最大は2015年の1,930万kWで、2019年は1,510万kWと推定している。米国の電力市場では安価な天然ガスや再生可能エネルギーへの転換が進み、石炭産業の復興を支援するトランプ政権の政策にも関わらず、石炭火力発電所の停止傾向が継続しており、今後もこの傾向は変わらないと報じている。